

# 音の輪・音の和



一般社団法人  
兵庫県音楽療法士会

2020年3月発行 No.10

## 『兵庫県音楽療法士会の誕生とこれから』

一般社団法人兵庫県音楽療法士会 副理事長 井上 恭子

今年、阪神淡路大震災から節目となる25年目を迎えました。兵庫県は、被災された県民のこころのケアのために、震災4年後に当時の故貝原俊民知事の命により、音楽療法士の養成を始めました。進言されたのは、後に当会の顧問に就任する故山口陽雄医師です。山口先生は、まだ音楽療法という言葉が社会にあまり知られていない頃から、ご自分の病院で音楽療法を実践されておられました。2002年2月に初めての兵庫県音楽療法士が誕生し、同年5月には認定者27名で兵庫県音楽療法士会を設立しました。その後、知事が貝原氏から井戸氏に替わられても、県の音楽療法士養成は継続され、毎年新認定者を輩出、そのほとんどが当会に入会して仲間になり、2012年には法人格を取得し、現在会員数約250名の団体になりました。そして自己研鑽の為、設立当初から研修会や事例研究会を毎月実施しています。また兵庫県から補助を頂きながら、県下の医療・福祉・教育施設・団体等へ、音楽療法の普及・定着に努めています。しかし、県民の皆様全てに知って頂いているわけではありません。その為に2年前から、活動が十分に行われていない地域の皆様に、まずは「音楽療法を体験し知って頂くことが第一」という兵庫

県からのご提案で、参加型コンサートを展開しております。会場で実施したアンケートによると、少しずつではありますが、ご理解頂き、興味を持ってくださる方が増えてきている結果が出ています。

さて、来年は設立20年目を迎えます。これから10年後20年後、音楽療法を取り巻く状況や実践の現場はどうなっているのでしょうか？当会は「兵庫県音楽療法士の資格を持った者のみの職能団体」で、会員は兵庫県内での音楽療法の普及・定着という同じ目的を持つ仲間です。日本国内での音楽療法がどのような道を歩んでいくことになっても、横のつながりと兵庫県との絆はしっかりつないで会員全員で成長していきたいと願っています。



### もくじ

- 兵庫県音楽療法士会の誕生とこれから・・・1
- 県内参加型コンサート開催事業・・・2,3
- 2019年度 研修会・事例研究会事業・・・4
- 第8回 山口陽雄記念賞授与式・・・5
- 第43回 井植文化賞 社会福祉部門受賞・・・5
- 第19回 日本音楽療法学会学術大会での当会の口演発表・・・5
- 各種団体からの依頼コンサート等・・・6,7
- 楽器紹介&音楽の豆知識・・・6,7
- 音楽療法普及・定着強化事業・・・8
- information・・・8

# 県内参加型コンサート開催事業（兵庫県補助事業）

多くの県民の皆様へ、音楽療法を体験し知って頂くために、2017年度から2019年度の3年間で、県内47会場で開催し、延べ250名の兵庫県音楽療法士が出演、約3,700名のお客様がご来場くださいました。3年間の開催地域等を地図に示しています。

2017年度 2018年度 2019年度



## 2019年度は、5地域【三木・姫路・朝来・丹波篠山・淡路】5会場で開催しました

### 三木会場



### 姫路会場



### 朝来会場



### 丹波篠山会場



### 淡路会場



## 2019年度 研修会・事例研究会事業

4月・研修会

**松田 恵理子 氏** 佛教学部社会学部社会福祉学科卒業、日本音楽療法学会認定音楽療法士、  
「音楽工房SOLEIL」代表、「歌ってスマイル」副代表  
「いのちとともに ～かけがえのない時を紡ぐ音楽療法～」

5月・研修会

**北村 英子 氏** 日本音楽療法学会認定音楽療法士  
「高齢者の音楽療法」～実践から考える配慮と工夫～リズム活動編 (ワークを交えて)

6月・事例研究会

**岡崎 香奈 氏** 神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授  
事例研究「脳梗塞後遺症による失語症患者対象の音楽療法」と事例発表

7月・公開研修会

**久保田 牧子 氏**  
日本音楽療法学会認定音楽療法士、日本芸術療法学会認定芸術療法士、長谷川病院活動療法科音楽療法士  
「音楽療法における創造性と表現 ～即興演奏とsong creatingの実際～」

8月・公開研修会

**吉村 奈保子 氏**  
国際音楽療法専門学院、特別支援学級非常勤講師、日本音楽療法学会認定音楽療法士  
「同調し合う関係をもたらし音楽について ～音楽療法における音・音楽の選び方、使い方～」

9月・事例研究会

**後藤 浩子 氏** 日本音楽療法学会認定音楽療法士、臨床心理士  
「臨床心理士として音楽療法をして感じる、良いこと、良くないこと」と事例発表

10月・公開研修会

**吉田 勝明 氏**  
横浜相原病院院長、神奈川県病院協会副会長、精神保健指定医、精神科専門医、日本老年精神医学会専門医  
「こころの病 ～こどもから高齢者まで～」

11月・公開研修会

**鯨岡 峻 氏**  
京都大学文学部、同大学文学研究科修士課程を修了後、京都大学博士(文学)、京都大学名誉教授  
「音楽療法、エピソード記述、そして面接 ～セラピストクライアントの関係性に入り込むために～」

12月・公開研修会

**甲谷 至 氏** 神奈川県リハビリテーション病院歯科口腔外科、日本障害者歯科学会認定医、  
日本口腔リハビリテーション学会認定医、日本音楽療法学会認定音楽療法士  
「フレイル」高齢者の口の働きを維持向上する音楽療法 ～歌う口腔ケアによる「フレイル」と「認知症」の予防～

1月・事例研究会

**鈴木 暁子 氏** 東加古川病院音楽療法士、臨床心理士  
「気持ちを上手に伝える -アサーション入門- 」と事例発表

2月・公開研修会

**三崎 めぐみ 氏**  
穴吹パティシエ福祉カレッジ講師、香川音楽療法研究会会長、日本音楽療法学会理事、日本音楽療法学会四国支部長  
「音楽療法 真っ最中」～高齢者のセッションプログラムを考える～

3月・公開研修会

**三宅 聖子 氏** 神奈川県立保健福祉大学大学院非常勤講師、渋谷区社会福祉事業団生活実習所所長、  
音楽とリハビリテーション研究会顧問、NPO法人ミュージックas/パレット代表理事  
「音楽を用いた生活リハビリテーション」～豊かに生きる力を育む～

(中止)

※講師の肩書は研修会当時のものです。 ※3月公開研修会は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止になりました。



## 第8回 山口陽雄記念賞授与式



後列 鞘本尚子(当会理事長)、山口直子氏(向陽病院常務理事)  
前列 阿部 恩氏、大串智恵会員、山口紅子氏

音楽療法の普及発展、音楽療法士の士気向上を図る目的として設立された山口陽雄記念賞の授与式が、2020年1月26日(日)に行われ、大串智恵会員が受賞されました。

審査委員長の阿部恩氏(頌栄短期大学名誉教授)が「多岐にわたる業績、ならびに実践活動に加え、音楽療法士会の運営にも責任を負いつつ音楽療法の普及活動にも尽力されました。」と審査講評を述べられました。医療法人社団向陽会向陽病院理事長 山口紅子氏より、お祝いの言葉と賞状並びに副賞が贈られました。大串氏は「この度は受賞の機会をいただきました事を大変嬉しく、光栄に思います。私が今日、ここに立たせていただけましたのも、山口陽雄記念賞の設立者でもあります。故・山口陽雄先生の多大なお力添えがあった事だと思います。また山口先生の亡き後、私達を支え見守って下さっています、山口紅子先生に深く感謝いたします。今後は音楽を通して、多くの方々と出会う中で一人ずつと向き合いながら、日々の自己研鑽に励んでいきたいと思ひます。また、後に続く仲間の相談相手となれますよう、努めていきたいと思ひます。」と、謝辞を述べられました。

## 公益財団法人井植記念会 第43回井植文化賞 社会福祉部門 受賞

三洋電機創業者の井植歳男氏(津名郡東浦町出身=現・淡路市浦)が66歳で亡くなった昭和44年(1969)「財団法人井植記念会」を設立し、令和元年、50周年を迎えられた節目の年に受賞となりました。

多くの新聞に掲載され、NHKの関西のニュースでも報道されて晴れの日を迎えました。2019年10月5日(土)神戸市垂水区の井植記念館で開かれた表彰式では立派な金屏風の前で表彰状と副賞目録をいただきました。この表彰状がそれはすごくて、これまでの当会の活動をぎっしりと墨で書いてくださっています。これまでお世話になった方々へ改めて感謝したいと思ひました。副賞として頂いた100万円は当会の運営がよりスムーズに行えるようなことに使いたいと考え、早速、古くなっていた事務所のパソコンを購入し、今後も事務所を整えることに使ってはどうかと検討中です。



## 第19回 日本音楽療法学会学術大会での当会の口演発表



2017年7月に開催された第15回世界音楽療法大会において、当会前理事長松崎氏による発表「兵庫県音楽療法士会の職能団体としての存在意義と役割」に続き、2019年9月開催の第19回日本音楽療法学会学術大会において、当会理事長鞘本と副理事長井上の2人が口演発表を行いました。(題名:職能団体「一般社団法人兵庫県音楽療法士会」の役割と課題)

兵庫県は知事の意向を受けて兵庫県内での音楽療法普及のため音楽療法士の養成を始め、認定された兵庫県音楽療法士は県内で音楽療法を実施し、音楽療法普及・定着に貢献する役割を担っています。県内隅々まで音楽療法を普及させるためにはまだまだ活動を広げる必要があり、兵庫県音楽療法士はこれらの兵庫県知事の思いをきちんと理解した活動がまだまだ不足しているのではないかという課題等について話しました。

## 各種団体からの依頼コンサート等

今年度も行政や各種団体から、コンサートの実施、音楽療法の講話、体験などのご依頼をいただきました。(掲載は2019年12月末迄ご依頼分)

### 加古川市平岡町老人クラブ連合会

2019年7月4日(木)  
場所: 平岡公民館(加古川市)  
<心と体のリハビリ～音楽療法体験とミニコンサート>

### 兵庫県立嬉野台生涯教育センター うれしの友の会

2019年7月10日(水)、8月1日(木)、10月31日(木)  
場所: 嬉野台生涯教育センター(加東市)  
<音楽でこころもからだもリフレッシュ! みんなで楽しもう! 音楽療法講座>

### 垂水区地域自立支援協議会

2019年8月24日(土) 場所: 神戸市立いぶき明生支援学校(神戸市)  
<たるみサマーフェスタ2019> 垂水区地域自立支援協議会主催によるコンサートの第2部に出演。  
昨年度の明石での当会主催の県内参加型コンサートを観に来られた関係者の方が、垂水でも開催してほしいと依頼を頂きました。会員9名による篠笛と和太鼓のオープニングに続き、楽器活動、身体活動、ピッコロ、フルート、トーンチャイムの鑑賞に加え、コマーシャルソングのメロディー等の音当てクイズに会場は盛り上がり、広い体育館で自由に、歌って、鳴らして、踊って、楽しいひと時を過ごして頂けたようでした。



### 三木市健康福祉部介護保険課

2019年9月～2020年2月 計6回実施  
場所: 自由が丘公民館 他5か所(三木市)  
<「音楽の力について」講話と音楽療法体験  
(みっきい☆いきいき体操自主教室における介護予防講座)>



### (一社)神戸市介護老人保健施設協会

2019年9月～12月 場所: 介護老人保健施設(神戸市) 10施設  
<訪問コンサート>  
2003年度から毎年ご依頼いただいております。当初は大きな会場でコンサートを開き施設からお越しいただいていた。施設へ出向く「訪問コンサート」の形になってから、10年目になりました。



### (社福)甲山福祉センター 総合相談支援センター

2019年12月12日(木) 場所: 総合相談支援センター(西宮市)  
<「あいあいひろば」クリスマスコンサート>  
親子(乳幼児)で参加いただき、ヘルマンハーブの演奏を聴いていただいたり、みんなで歌を歌ったり、鈴、タンバリン、ゼンベ等の楽器を鳴らしてクリスマスの音楽を楽しみました。



### 中播磨地区手をつなぐ育成会

2019年12月～2020年2月 計3回実施 場所: たかはしサポートセンター(神崎郡福崎町)  
<音楽療法体験>1回目は12月22日。みんなでクリスマスソングを歌ったり、音楽に合わせてしっかり身体を動かしました。



5音階といってもOriginal、Slim、Miniとシリーズがあり、いろいろな音階で演奏を楽しむことができます。それぞれ独特の雰囲気のある音階なので、自分の気に入った種類を選ぶことが重要です。5音階と音数が少ないですが、音階の種類の異なるものと組み合わせる演奏されることも可能です。

どちらかといえば即興演奏向きの為、既存の曲の演奏は限られていましたが、新たに5音から11音と音数が増えた「HAPI-UFO」も販売され、どんどん幅広い演奏ができるようになってきているようです。

### 【音楽の豆知識】 ● ポピュラー音楽に変身したクラシック曲

もともとクラシック音楽だったものがポピュラー音楽にアレンジされた曲は結構たくさんあります。ショパンの「エチュードOp.10-3」は「別れの曲」という題名で日本でも親しまれている名曲ですが、この題名は1935(昭和10)年に日本公開されたショパンの伝記映画「別れの曲」の中で使われて定着しました。同じくショパンの「ノクターンOp.10-2」は映画「愛情物語」の中で使われて「トゥ・ラブ・アゲイン」としてさらに有名になりました。

ベートーヴェンの「エリーゼのために」に歌詞を入れたザ・ピーナッツの「情熱の花」やザ・ピーナッツの「キスは目にして」も大ヒットしました。マルティニの「愛の喜び」はエルヴィス・プレスリーの「好きにならずにいられない」という曲でヒットしています。

他にもテレビ・ドラマやCMに使われヒットしたものなど数えきれないほどたくさんの曲があり、これらは原曲の魅力があるからこそヒットなのだと思います。

※参考文献 著者 長田暁二 「知っているようで知らない音楽おもしろ雑学事典」



## 楽器紹介 & 音楽の豆知識

### 【楽器紹介】 ● HAPI DRUM (ハピドラム)

UFOのような形をした楽器「ハピドラム」は、2008年に北米のハピトーンズ社で開発された鉄製のスリットドラムです。

スリットドラムはもともスイスのPanArt社で2001年に開発したハングドラム(「手で叩く太鼓」という意味)という楽器で、その製造過程は公表されておらず、その「神秘的な音色」は、瞬く間に世界的に人気になったのですが、生産が追いつかず今はほとんど入手困難になってしまいました。

新たにプロパンガスボンベの底でスリットドラムを作成するなど、プロ・アマ問わず数多くの楽器製作者がハングドラムにとって代わる楽器を創造しようと試みましたが、ハピドラムもその一つの楽器です。深く澄み切った音色が特徴で【癒しの楽器】としても有名です。

ペントニックスケール(ドレミソラといった5音音階)で構成された音階が配列されており、付属のマレットや、手で叩き、誰でも直感的に心地よい音楽を奏することができます。



## 音楽療法普及・定着強化事業

2019年度も前年度に引続き、音楽療法普及の為の「県内参加型コンサートの実施」や新規導入の為の「お試し体験補助」「定着促進事業」の三事業を行いました。

2006年に「音楽療法導入事業」として始まった本事業は、現在までに延べ800を超える施設等で継続頂き、「音楽療法」という言葉も少しずつ知られるようになりました。

2017年からは従来の補助事業に加え「県内参加型コンサートの実施」と「お試し体験補助」が加わりました。定期実施前に体験して頂く機会を設けた事で「施設にとって本当に必要かどうかの判断がしやすい」「安心して開始できた」とご好評頂いています。お陰様で、お試し体験補助のご利用後に月2回以上の定期的実施に繋がったのは、2017年64%、2018年78%で、月1回や季節毎の実施も加えると約90%の施設等で音楽療法導入に繋がった事になります。

今後は、施設等や社会のニーズに合わせた音楽療法が実施できるよう、日々研鑽を積みながら、ご利用頂きやすい補助事業を続けて行けるよう努力したいと思います。

### information

#### ♪ 音楽療法の実施や講演依頼等 … 事務局へお問い合わせください。

- お問い合わせ先 E-mail [jimukyoku@hmta.jp](mailto:jimukyoku@hmta.jp)  
Fax 078-261-9602

#### ♪ 補助事業(音楽療法普及・定着強化事業)のご利用

- ◇ お試し体験補助事業 … 音楽療法を本格導入する前に体験して頂けます。
- ◇ 定着促進事業 … 月2回以上実施の医療・福祉・教育施設等に対して導入初年度の音楽療法の実施経費の一部を支援させていただく制度です。

令和2年度「音楽療法普及・定着強化事業」については、2020年4月以降、当会ホームページにてご案内いたします。

- お問い合わせ先 E-mail [sokushin@hmta.jp](mailto:sokushin@hmta.jp)  
Fax 078-261-9602

※令和2年度予算が確保できなかった場合、予定が変わる可能性があります。



### 一般社団法人 兵庫県音楽療法士会

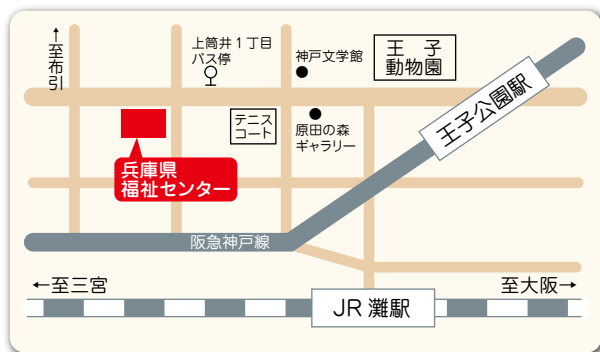
〒651-0062  
神戸市中央区坂口通2丁目1-1 兵庫県福祉センター6F  
一般社団法人兵庫県音楽療法士会事務局  
TEL (078)261-9601 FAX (078)261-9602  
E-mail: [jimukyoku@hmta.jp](mailto:jimukyoku@hmta.jp)

#### 【アクセス】

JR 灘駅・阪急王子公園駅下車徒歩約10分  
神戸市バス(90・92系統)上筒井1丁目バス停下車すぐ

#### 【ホームページ】

<https://hmta.jp>



ホームページでは、音楽療法に関すること、会の活動や公開研修会の案内などをご覧いただけます。



今号では、3年間に実施した県内参加型コンサートの開催地域を地図で示しました。兵庫県はとても広く、お伺いできていない地域がまだまだたくさんあります。当会には、約250名の兵庫県音楽療法士が県内各地にいます。会員みんなで力を合わせて、今後も音楽療法の普及・定着を目指し、さらに歩いていきたいと改めて思いました。広報誌発行にあたり、ご協力いただきましたすべての皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。(広報部 杉浦昭代)

